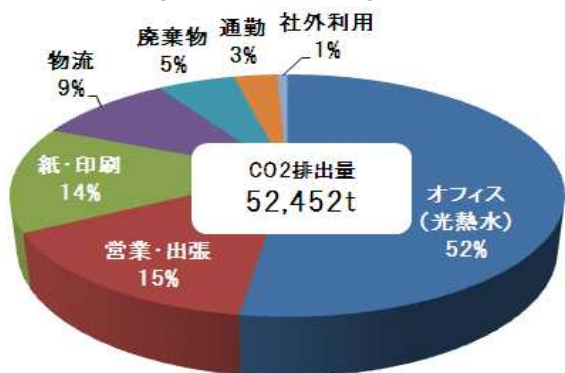


日本興亜損保のカーボン・ニュートラルへの取組概要

カーボンニュートラル宣言 (2008年7月)

2012年度までにCO₂排出量を2006年度比で20%以上削減した上で、削減困難な部分は、排出権を購入することなどでCO₂排出量を“ゼロ”を目指す

基準年度(2006年度)CO₂排出量



算定対象範囲

- (スコープ1) 都市ガス、LPガス、灯油、重油、社有車使用
- (スコープ2) 電気、熱の利用(海外連結会社含む)
- (スコープ3) 営業・出張・赴任、宿泊、通勤、紙・印刷、上下水、物流、廃棄物、社外利用

自助努力で2006年度比20.3%削減(活動量ベース)

カーボンニュートラル化(コスト削減)計画を策定

設備面(ハード)
削減策



運用面(ソフト)
削減策

改修工事計画の見直し

東京・日本橋ビルに屋上庭園を設置
研修センター屋上に太陽光パネルを設置
全拠点にWeb会議システムを導入
エコ安全ドライブ・公共交通機関の利用
プリンター両面ユニット活用や会議資料削減
約款のペーパーレス化を推進
社内管理資料電子化・社内手続の電子化
新物流拠点を設置し、輸送効率を向上

ISO14001と連動したCO₂マイナス

20%運動を実施
組織別のCO₂排出量を「見える化」
「CO₂マイナス20%運動」の結果を業績評価制度の評価項目に反映
社内イントラに、全国各地の取り組みを紹介するコーナーを設置
省資源取組みをエコチェッカー向けにメールマガジンを定期的に配信

削減困難分は、クレジットを活用して全量をオフセット

2012年度のCO₂排出量46,964 t-CO₂を以下のクレジットで相殺(オフセット)

クレジット種類	プロジェクトの概要	オフセット量
CER	インド北西部での風力発電プロジェクト他5件	39,000 t-CO ₂
国内クレジット	北海道での木質バイオマスボイラーの新設プロジェクト他6件	10,000 t-CO ₂
J-VER	岩手県沿岸地域での震災がれき再資源化による復興プロジェクト他2件	1,000 t-CO ₂
	合計	50,000 t-CO ₂

お問合せ: 日本興亜損害保険株式会社 CSR部
TEL 03-3349-4322